

今に響く、シェイクスピアの隠れた名作！俳優の力量を存分に味わう大作で、新春幕開け！  
SPAC 秋→春のシーズン 2022-2023 #3

# 『リチャード二世』

## プレス関係各位

平素より、SPAC-静岡県舞台芸術センターに格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

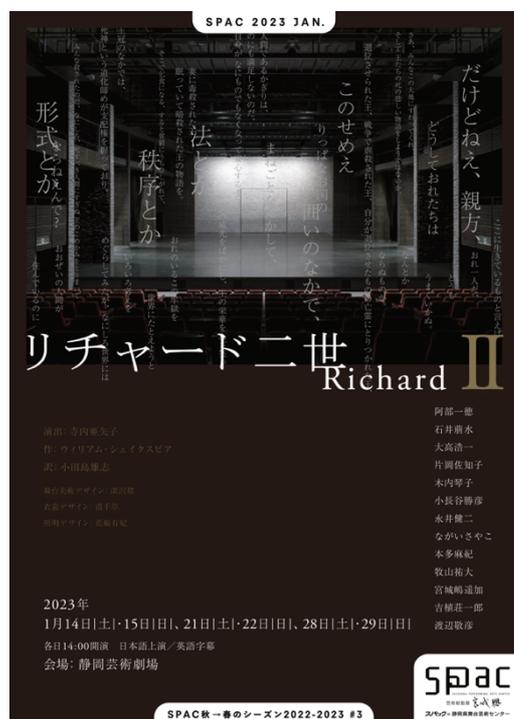
SPAC では、「秋→春のシーズン」と題し毎年 10 月から 3 月にかけて、古今東西の名作戯曲を、芸術総監督・宮城聡と国内外の注目の演出家たちによる現代演出で連続上演しています。25 周年を迎えた今年度のレギュラーシーズンでは、これまでに『ペール・ギュント』、SPAC 版『守銭奴 あるいは嘘の学校』を上演。年初を飾る 3 作品目は、長年 SPAC で俳優として活動し近年は演出家としても活躍目覚ましい寺内亜矢子による新作『リチャード二世』を上演いたします。

## ■シェイクスピアが描く、王様“だった”男の感情のジェットコースター！

暴君の失墜、新しい王の誕生、先王の暗殺——。30 年に及ぶ薔薇戦争の起因となった王位篡奪劇を描く、シェイクスピアの『リチャード二世』。好き放題に振る舞ってきた男が王位を奪われ、「何者でもなくなる」ことに怯えて右往左往する様は、喜劇的でありながら、他人事でない普遍性も併せ持っています。傲慢から卑屈、希望から絶望、諦めから執着へと一瞬で切り変わるリチャード二世。その情念の激しさは、「この役をこなせる役者がいたら、シェイクスピアの書いた他のどんな役よりも観客を楽しませるだろう」と評されるほど。演じるのはその台詞術・発声術が海外でも高い評価を得る SPAC 俳優の阿部一徳。対する新王ヘンリー・ボリングブルックには本多麻紀。詩情豊かなシェイクスピアの言葉の数々(小田島雄志訳)を、SPAC を代表する俳優陣 13 名でお届けします。

## ■空っぽの劇場をとおして、シェイクスピアの言葉が“今”に響く。

今回演出の寺内は、シェイクスピアの傑作歴史劇を「言葉の不全」をめぐる悲劇に仕立てました。『リチャード二世』では、言葉の真偽が議論ではなく決闘によって裁かれ、王の願いが言葉に出されないまま実現されていきます。それは、感情を煽る言葉が SNS 上で幅を利かせ、曖昧な言葉をめぐる忖度が日常に溢れる“今”にもつながる物語なのです。舞台美術を担当するのは、これまで SPAC 内外で多くの作品を手掛けてきた深沢襟。静岡芸術劇場の空間そのものを生かし、直線と平面から構成されたミニマルな劇空間は、時代を超えた普遍性を感じさせつつ、そこに立つ人間の生々しさを際立たせます。空っぽの劇場に響く、“今”の世界を問うシェイクスピアの言葉。歴史劇の面白さがぎゅぎゅ詰まったイングランド王の物語が、虚言・疫病・戦争に今なお翻弄され続ける現代を照らし出します。ぜひご期待ください。



SPAC 2023 JAN.

形式どが... 秩序どが... だけどねえ、親方... どうおれたら...

このせめえ... しいのなかで...

# リチャード二世 Richard II

演出: 寺内亜矢子  
作: ウィリアム・シェイクスピア  
訳: 小田島雄志

演出美術デザイン: 深沢襟  
衣裳デザイン: 清千草  
照明デザイン: 花輪有紀

出演: 阿部一徳、石井萌水、大高浩一、片岡佐知子、木内琴子、小長谷勝彦、永井健二、ながいさやこ、本多麻紀、牧山祐大、宮城嶋遥加、吉植荘一郎、渡辺敬彦

公演日:  
1月14日(土)・15日(日)・21日(土)・22日(日)・28日(土)・29日(日)  
各日 14:00 開演

会場: 静岡芸術劇場(グランシップ内)

SPAC  
SPAC 秋→春のシーズン 2022-2023 #3

## リチャード二世 [新作]

演出: 寺内亜矢子 / 作: ウィリアム・シェイクスピア / 訳: 小田島雄志  
舞台美術デザイン: 深沢襟 / 衣裳デザイン: 清千草 / 照明デザイン: 花輪有紀  
出演: 阿部一徳、石井萌水、大高浩一、片岡佐知子、木内琴子、  
小長谷勝彦、永井健二、ながいさやこ、本多麻紀、牧山祐大、  
宮城嶋遥加、吉植荘一郎、渡辺敬彦

<上演時間: 約 2 時間 20 分(途中休憩なし)>

### ■公演日:

1 月 14 日(土)、15 日(日)、21 日(土)、22 日(日)、28 日(土)、29 日(日)  
各日 14:00 開演

■会場: 静岡芸術劇場(グランシップ内)

## 演出家プロフィール 寺内亜矢子(てらうち・あやこ)



1997 年、ク・ナウカ シアターカンパニーにて演劇活動開始。2007 年の劇団休止後は、SPAC を主な拠点に国内外の舞台に出演するほか、東京藝術大学にて身体表現教育に携わる。俳優・演出・演奏・音楽構成・ドラマツルク・通訳・翻訳等、舞台芸術創作に関わるもろもろを手がける国際派マルチプレイヤー。SPAC での演出作に『おおとええっとええじゃないか』(ふじのくに野外芸術フェスタ 2020 in 掛川)、『忠臣蔵 2021』(共同演出)、『三原色』(SPAC 演劇アカデミー第 1 期生成果発表会)などがある。



©古川智史



©古川智史

## チケット <好評販売中！>

### ●料金(税込/全席指定)

一般:4,200円

ペア割引:3,700円(2名様で1枚につき)

ゆうゆう割引:[満60歳以上]3,500円

学生割引:[大学生・高校生]2,000円

[高校生以下]1,000円 \*その他各種割引あり

## チケットお取り扱い

SPAC チケットセンター TEL:054-202-3399

(10:00~18:00, 休業日1/16を除く)

ウェブ予約 <https://spac.or.jp/ticket>

## お問い合わせ SPAC-静岡県舞台芸術センター

TEL:054-203-5730 FAX:054-203-5732

E-mail: [mail@spac.or.jp](mailto:mail@spac.or.jp) 公式サイト: <https://spac.or.jp>

### 中高生鑑賞事業公演「SPACeSHIP げきとも！」

SPACでは「劇場は世界を見る窓である」という理念のもと、平日には静岡県内の中学生・高校生を対象とした招待公演を行っています。本作の中高生鑑賞事業公演では、18校で約2,451人の中高生が来場予定です。一般の方がお入りいただける日程もございます。詳細は公式サイトにて。

\*1月12日(木)~2月10日(金) 11公演



©古川智史

製作:SPAC-静岡県舞台芸術センター

助成:文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会  
(一財)地域創造

## 関連企画

### ●アーティストトーク

終演後にトークを開催。参加無料/予約不要

▷ 1月14日(土)

司会:宮城聡(SPAC芸術総監督)

出演:寺内亜矢子(演出)、阿部一徳、本多麻紀(出演俳優)

▷ 1月15日(日)

ゲスト司会:山田裕幸(劇作家、演出家、ユニークポイント代表)

出演:寺内亜矢子(演出)、

石井萌水、永井健二、ながいさやこ、渡辺敬彦(出演俳優)

### スペシャルトーク

▷ 1月28日(土)



今注目を集める哲学者、**國分功一郎氏**をゲストに迎え、寺内亜矢子との対談を実施します。司会はSPAC文芸部の社会学者・大澤真幸。『リチャード二世』を切り口に、現代社会について語り合います。

### ●プレトーク

一般公演日の開演25分前より、2Fカフェ・シンデレラにて。舞台をよりおもしろく観劇できるポイントをご紹介します。

### ●バックステージレクチャー

終演後にSPAC創作・技術部スタッフが舞台裏を解説。

▷ 1月21日(土)、22日(日)、29日(日)

所要時間:約30分 参加無料/予約不要

### ●はじめてのシェイクスピア講座

SPAC文芸部の大岡淳が、ご観劇前にシェイクスピア作品の魅力をご紹介します。観劇が初めてでない方もご参加いただけます。

▷ 1月21日(土)、22日(日) 12:30~13:30

参加無料/要予約